

平成 30 年度岡山大学法学部・法学会講演会

現代社会における憲法と司法の役割について

— 国民が抱く（期待する）裁判像と裁判の実際の有り様 —

講師：見越 正秋 氏

（公証人、法務研究科客員教授）

日時：2019 年 2 月 1 日（金）14:00～16:10

場所：文法経 20 番講義室

上記のとおり、岡山大学法学部・法学会講演会を開催いたします。

講師の見越正秋先生は、1982 年 4 月から 2011 年 3 月まで検察官を務められ、現在は広島で公証人をしておられます。また、本学法務研究科の客員教授として「刑事法総合演習」を担当されています。

講演では、国民が司法に期待していることに対して司法は十分に答えられていないのではないか、刑事裁判において国民が期待する真実発見と裁判所が目指す紛争解決との間には意識のギャップがあるのではないか、といった問題について、刑事事件の具体的事例を踏まえながらお話しくださる予定です。

問合せ：法務研究科・吉沢（yoshiz-t@cc.okayama-u.ac.jp）まで